

## 耳に止まったらどう打つ？ エリエールGC14番に うさぎバンカー出現

バンカーに特徴的なデザインを採用したゴルフ場は、千葉県ゴルフ5オークビレッジや芝山GCが有名だが、このほど香川県のエリエールGCにも、うさぎの顔を模したアイランドバンカー、通称「ラパンバンカー」がお目見えした。営業グループリーダーの山地亜希子さんが説明する。

「当コースは1974年の開場で、来年50周年を迎えるため、その記念として新設しました」

設置場所は14番ホールの子イーイングエリアから250ヤード地点。フェアウェイのほぼ真ん中に、ドンと口を開けて待っている。

「14番ホールは打ち下ろしのパー4で距離が313ヤードと、パーディを狙いやすいホールなのですが、あえてグリーン手前に設置したのは、戦略性を高める狙いからです。」

新設されたバンカーは、ティーイングエリアから230ヤード前後打てば入り、かつバンカーを越えるには280ヤードのキャリーが必要で、飛距離自慢のプレーヤーほど悩ましい決断を迫られると思います」

うさぎ形のデザインにしたのは、エリエールGCのシンボルマークがうさぎだからとか。2月に完成し、現時点では修理工地扱いだが、芝が根付いた5月のゴルフデンウィーク明けから本格運用する予定だ。

「メンバー様の反応ですか？現時点では『かわいい』とか『面白い』といったデザインへの感想が大半ですが、本格運用が始まったらどうなるでしょう。当コースは地元以外の近畿圏や首都圏からのお客様も多いので、印象に残ってもらえると嬉しいですね」



こちらが、芝が根付いた後のバンカー予想イラスト。バンカー内に入れるとかなり難しいので、避けるのが賢明か

ちなみにバンカーの中に描かれたうさぎマークの島の上はジェネラルエリアとなり、クラブをソールして打てるが、「島はマウンド形なので、大半はバンカー内へ転がり落ちると思います」とも。バンカーの苦手な人は、入れない戦略を取るほうが無難なようだ。

ゴルフ業界にも導入が進むDX（デジタルトランスフォーメーション）化。ゴルフ場にとつて重要な芝刈り作業を機械に任せるゴルフ場も出てきている。

2月にフェアウェイ専用の無人芝刈り機2台を導入したのは栃木県にある鹿沼CC。芝のメンテナンスはゴルフ場の命ともいえるが、機械任せにして大丈夫なのか。

「あらかじめベテランのコース管理スタッフが運転し、作業を教え込んでその技術を再現します。なので、ベテランと遜色なく刈ることができず」（同CCを運営する鹿沼グループ・マーケティング広報部長・荒川磨理氏）

その他にも利点がある。同CCは45ホールあり、有人機だと客がいな

くなつてから暗くなるまでと作業時間が限られるため、頑張っても1人で刈れるのは9ホール。

また、有人機は3台あるが、忙しいと1台しか出せないこともあり、全ホール刈り終わるのに5日間かかり、各ホール週1回しか刈ることができない。無人機の場合、暗くても刈り込み精度は変わらず、時間を選ばず作業ができるため、2台で3日半で刈り終えられる。

週に2回刈り込みができることで、お客様へ提供する芝

## 鹿沼CCが無人芝刈り機2台を導入。自動化に拍車かかるか

のクオリティもアップしますし、従来刈っていた人員は別の作業ができるので、効率化にもつながります」（荒川氏）

同グループの栃木ヶ丘GCでは昨年12月から3月までの期間、同GC内にローカル5Gを構築し、ドローンカメラを活用した実証実験を実施。ドローンが芝の育成状況を確認したり、プレー客に飲食物を届けたりした。

すでにゴルフ場では自動計算機が当たり前になりつつあり、鹿沼CCでは自動チェックインの利用率もほぼ3割を超える。GDO茅ヶ崎GL（神奈川県）もAI顔認証によるチェックインを始めた。

自動配膳ロボットを導入するコースも増え、キャスコ花葉CLUB（千葉県）は自動清掃ロボットを取り入れた。ゴルフ場の自動化は、さまざまなか所で進んでいる。

次号 開幕戦で取材＆「男子プロはウェッジがおもしろい。プロ本人にじっくり語ってもらった」は4月18日(火)発売です